林けいじ府議会レポート

はやくやさしくしんけんに取り組みます

発行
大阪府議会議員　林　啓二
〒569-0077　高槻市野見町3-19
[TEL]072-672-1523
[FAX]072-672-1528
[URL]http://kei-hayashi.world.coocan.jp
[E-mail]kei-hayashi@mbn.nifty.com

9月定例会、府民文化常任委員会が10月11日と15日に開会されました。
林議員の主な質疑より

「文化自由都市・大阪」を目指す 第4次大阪府文化振興計画の更なる充実を

文化振興計画は「あらゆる人々が文化を享受できる都市」、「大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市」、「あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市」の3つを基本理念に基づいて計画されている。その進捗の評価と目標設定について問いました。

府は全体指標では、「大阪が、創造性を発揮し、チャレンジすることができる魅力的な都市であると思う府民の割合」を設定し、2020年度の目標を40%として、平成27年度は10.9%で平成28年度は19.8%、平成29年度には26.4%と順調に推移してきた。そこで、大阪文化芸術フェスのプログラムの充実や、リニューアルを進めている大阪府立上方演芸資料館の活用などを通じて、大阪の文化の魅力を広く発信し、大阪に人を呼び込んでいくことにつなげていきたいと答えました。

災害時の外国人への支援体制を万全に!!

まず、各市町村の地域防災計画に外国人への多言語支援について位置づけされている市町村は37で8割であり、災害時多言語支援センターの設置や災害時多言語ボランティア制度などの体制が整備されている市町村は6市である。

府として、今年度「災害時多言語ボランティア確保支援事業」を実施し、災害時において、外国人への効果的な支援体制が構築しやすいように促している。さらに、府はさらに市町村と連携して外国人の安全・安心の裾野を広げ、支援体制の構築に努めると答えました。

大阪観光局での観光振興施策等の取り組みにさらなる支援を!

大阪観光局では平成28年度から「数を増やす」「質を上げる」「波及させる」という3つのコンセプトに基づき戦略的に事業推進している。さらに、国の地方創生推進交付金を活用しながら、大阪の観光振興のための機能強化と事業展開を図っています。

来阪外国人旅行者数は、平成27年の716万人から、昨年には1110万人まで増加している。今後は、大阪観光局が行う観光振興施策事業の充実や機能強化を図り、多くの外国人旅行者を取り込めるよう、大阪府としてさらなる支援を要請しました。

＼やりました／ 公明党大阪府議会議員団の主な実績 ＼できました／

府民の皆様から寄せられる様々なご意見、ご要望などをもとに公明党大阪府議会議員団が実現させてきた政策のうち、主なものを紹介します。

① 国際観光都市にふさわしい受け入れ環境を整備

平成26年1月から無料でインターネットに接続できる「Osaka Free Wi-Fi」を提供、現在は駅やホテル、商店街、飲食店など府内5000か所で提供しています。平成29年3月には大阪駅に観光案内や旅のトラブルに対応する愛称「おもてなしステーション」を開設、平成29年度は年間約32万人の利用がありました。

▲京阪天満橋駅構内の
Osaka Free Wi-Fiサイン

② 中小企業の事業承継を応援

平成30年度から3年間を事業承継の集中取り組み期間とし、商工会議所等への補助金を活用した経営指導員による事業承継診断を実施しています。5月には大阪商工会議所内に総合相談窓口の「事業承継相談デスク」ができました。

③ LINEを活用したいじめ相談を実現

政令市を除く府内の中学校、高校、支援学校の中学部・高等部の生徒約39万人を対象に平成30年度は年間50日実施します。

④「子どもの貧困対策」でオール大阪の体制を構築

「子ども食堂」を開きたい人や運営している人の相談窓口「子ども食堂コンシェルジュ」を開設しました。学習支援も大学生や教員OBを対象としたボランティアを募集し、子ども食堂とマッチングを図ります。

▲子ども食堂コンシェルジュ

⑤ 大阪版「健康マイレージ」を導入へ

特定健診やがん検診の受診、健康づくりイベントへの参加などを通し、個人に健康づくりポイントを付与、たまったポイント数に応じ電子マネーへの換金など特典がもらえる仕組みです。平成31年1月、大阪市、門真市、岬町のモデル実施を皮切りに同10月から府内全市町村で実施する予定です。